

社会情報学部における TA と SA の活用 I

— 各担当教員による報告① —

札幌学院大学社会情報学部

高田 洋「データ解析」

森田 彦「プログラミング」

社会情報学部においては以前より授業の運営において、TA (Teaching Assistant: 演習実習教育指導員, 他大学の大学院生が中心) と SA (Student Assistant: 実習教育補助員, 本学の当該科目の先輩学部生が中心) を有効に活用してきた。2008年12月4日に行われた学部研究会では、社会情報学部に属する4人の教員が、それぞれが担当する科目における TA/SA の活用の実際を報告した。これら4つの授業には、TA と SA を併用しているもの、TA のみのもの、SA のみのものなど多様な形態があり、授業におけるそれぞれの役割なども様々である。研究会では、各授業での TA/SA の活用方法を共有し、また今後の活用のあり方を考えていきたいという研究会の趣旨のもとに活発な議論がなされた。ここにまとめられたものはその報告に基づいた論考である。今回は、その前半部分について掲載する。

(高田 洋)